

冬期の水田地帯におけるコハクチョウの 採食環境としての畦の役割

渡辺朝一

310-0032 水戸市元山町2-2-33-202

新潟県中央部に広がる越後平野一帯には、毎冬多数のコハクチョウ *Cygnus columbianus* が飛来し、越冬する(渡辺 2009a)。これらのコハクチョウは、夜間は潟沼や河川などで就峙し、昼の間は稲刈り後の水田地帯に小群で展開して過ごす(渡辺 2006)。稲刈り後の水田に降り立ったコハクチョウは、あまり休息することなく終日活発に採食する(渡辺 2003)。その食物内容は、水田面に散乱するイネの落ち籾、水田面に自生する越年生の草本である(渡辺 2004, 2005)。

水田地帯には、イネ *Oryza sativa* を栽培する水田面のほか、畦、農道、排水路がある。コハクチョウが採食場所として利用するのは圧倒的に水田面が多く、畦や農道はあまり利用されない。しかし、休息する個体は採食する個体に比較すると、多く畦を利用するようである(渡辺 2009b)。また、コハクチョウと同じカモ科に属する大型の水禽である宮城平野のマガン *Anser albifrons* は、時期にもよるが、水田面だけでなく、畦も採食場所として積極的に利用するという(嶋田 2006)。

コハクチョウが多く採食する草本はスズメノテッポウ *Alopecurus aequalis*、スズメノカタビラ *Poa annua*、タネツケバナ *Cardamine flexuosa* の3種類である。この3種は、水田面にも畦にも農道にもみられる。にもかかわらず、コハクチョウがあまり畦や農道を利用しないのは、水田面にだけみられるイネの落ち籾に対する嗜好性が高かったり、水田面には上記3種以外の草本が少ないのに対し、畦や農道では、上記3種以外にも多く出現したり高い被度を占めたりする種がある(渡辺 2009a)ため効率が悪くなり、畦や農道を避けている可能性が考えられる。

本稿では、積雪時におけるコハクチョウの採食場所としての畦の機能を指摘したい。

1995年2月25日、福島潟東方の水田地帯を踏査し、コハクチョウを観察した。その冬は積雪量がかなり多く、2月下旬であるにもかかわらず水田地帯は多くの場所が積雪に覆われていた。しかし、最後の降雪から6日以上が経過していたため、雪が次第に溶け始めており、水田面は完全に冠雪していたにもかかわらず、畦だけが融雪して泥が露出し、コハクチョウの成鳥7羽、幼鳥4羽が畦上の草本を採食していた(図1)場面を観察した。この観察から、畦には、まとまった積雪の後に、水田面より早く雪が

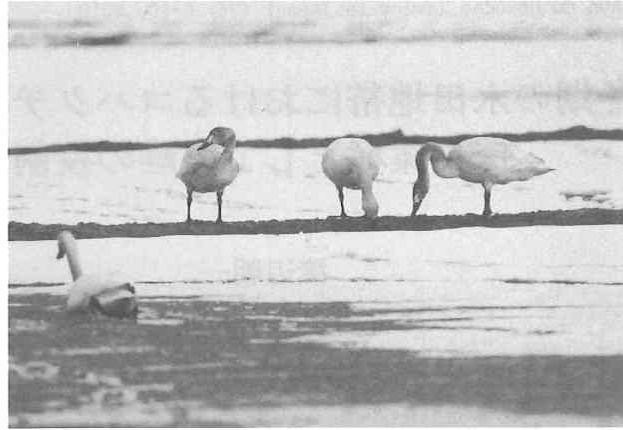


図1. 雪がいちはやく融けた畦上で採食するコハクチョウ成鳥7羽、幼鳥4羽のうちの一部(1995年2月25日、新潟県福島潟近郊で撮影)

融けて露出し、コハクチョウに対していちはやく採食場所を提供する機能があると考えられた。筆者の2004年12月11日と2005年2月26日における水田地帯におけるコハクチョウの採食環境利用調査(渡辺 2009b)では、コハクチョウは採食場所としてほとんど水田面を選んでおり、畦での採食はごくわずかしか記録されなかった。しかし、この調査は両日とも全く積雪がない環境下でのものであった。積雪がさまざまな程度で見られた場合に、コハクチョウが水田面だけでなく、畦、農道、水路などをどのように利用するのか、あらためて調査する必要がある。

近年は越後平野一帯でも、積雪はかなり少なくなってきた。しかし、広い水田地帯が冠雪する機会はなくなったわけではなく、まだまだ頻繁にみられる現象である。そのため、畦は、雪がない場合はあまり利用しないコハクチョウにとっても、有用な環境であると考えられる。

引用文献

- 嶋田哲郎. 2006. 日本の水田生態系におけるマガン *Anser albifrons* の越冬戦略と
の保全生態学的研究. 岩手大学博士学位論文. 岩手大学, 盛岡.
- 渡辺朝一. 2003. 越後平野の水田におけるコハクチョウの採食個体割合の経時変化
日本の白鳥 (27): 2-8.
- 渡辺朝一. 2004. 越後平野の水田で確認された越冬期のガン・ハクチョウ類の採食行
動と食物. *Strix* 22: 99-107.
- 渡辺朝一. 2005. 冬季の越後平野水田におけるコハクチョウの食物内容. *Strix*
23: 83-89.
- 渡辺朝一. 2006. 冬季の越後平野水田におけるコハクチョウの群れサイズと分布. 新
潟県生物教育研究会誌 41: 7-12.

- 渡辺朝一. 2008. 越後平野一帯のカモ科鳥類の記録種・個体数の経年変化. 新潟県生物教育研究会誌 43: 37-54.
- 渡辺朝一. 2009a. ガン・ハクチョウ類の採食地としての冬期越後平野水田の環境. 新潟県生物教育研究会誌 44:13-27.
- 渡辺朝一. 2009b. 冬期の越後平野における水田構造からみたコハクチョウの採食環境. Bird Research 5: S11-S15.